

(一財) 日本森林林業振興会設立 80 周年 記念講演会及び意見交換会が盛大に開催

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祝日は
繰り下げ発行となります。

一般財団法人・日本森林林業振興会（以下、「振興会」という。）は、2月3日（火）に都内ホテルで『80周年記念講演会と意見交換会』を開催しました。会場は早くから来場された会員を含め、160名を超える大勢の参加者で溢れ、開会前から熱気に包まれていました。

13時15分、『みどりの大使』から、急遽司会役を引き継いだ『水の天使』の高坂実優さんの司会で会が始まりました。

最初に式典の主催者である振興会の沼田会長が挨拶に立たれ、振興会のこれまでの歴史や組織の概要などについて説明されるとともに、記念講演の講師3名のご紹介の後、多数のご参加をいただいたことに対する謝辞を述べられました。



司会役の「水の天使」高坂実優さん



講演会初めにご挨拶される沼田会長

目次:

(一財) 日本森林林業振興会 設立 80 周年 記念講演会及び 意見交換会が盛大に開催	1 ~ 3
『2026 ミス日本みどりの 大使』が林業協会を訪問	4
(一社) 日本林業協会 令和 8 年度 第 1 回理事会を開催	4
ご紹介コーナー 『モクコレ2026』の会場で 『森育・木育ボードゲーム体験 会』に出会いました!!	6
国会・業界 行事日程(1月)	7 . 8

次いで、『森林・林業・木材産業の今後を探る』と題した講演会に移り、3人の講師による熱心な講演が行われた後、会場からの質疑応答が盛んに行われ、充実した講演会になりました（それぞれの演題と経歴は以下を参照願います）。

午後5時半からは会場を移して『意見交換会』が開催されました。主催者挨拶に続いて、ご来賓の林野庁の小坂長官がご挨拶に立たれ、振興会のこれまで果たしてきた役割についての感謝と尊敬の念を表されるとともに、最近の林業行政及び今後に向けた新たな施策などについて詳細かつ具体的なお説明をされました。

続いて同じくご来賓の日本林業協会の島田会長が、記念式典の開催をお祝いするとともに、森林所有者の経営意欲が失われ伐採後放置される森林が将来に向けての大きな問題となっていることを踏まえ、林業団体においても林野庁のご指導もいただきながら、力を合わせて持続的森林経営を可能とするための仕組みづくりに取り組んできている。

日本の森林・林業の将来に向け、広く国民の皆さんからの理解と協力を求めるための活動にさらに積極的に取り組んでいきたいと述べました。



講演される本郷氏



講演される梅田氏



講演される池本氏

次いで、みやま会の前田代表世話人による乾杯のご発声が行われて宴が始まりました。大勢の参加者があちらこちらで歓談するとともに、各地の振興会支部から寄せられた清酒がふんだんに振舞われ、80年を振り返っての話題で大いに盛り上がりました。

宴もたけなわながら締めのご挨拶が行なわれることになり、国土緑化推進機構の織田専務が1本締めで宴を閉じました。華やかな中にもこれまでの歴史の重みを感じさせる感銘深い80周年記念式典となり、参加者はいずれも満足気な表情で会場を後にしていました。

意見交換会でご挨拶される
沼田会長

ご挨拶される小坂長官

乾杯のご発声をされる
前田代表世話人

ご挨拶される島田会長

締めのご挨拶をされる
織田専務

講演会テーマ:「森林・林業・木材産業の今後を探る」

講演者:



13:35~

『森林林業の環境価値と商業化の課題』

本郷 尚 氏

三井物産戦略研究所 シニア研究フェロー



14:45~

『コマツが描く未来の林業現場』

— 課題解決型グローバル機械化林業への挑戦 —

梅田 博之 氏

コマツグリーン事業(林業・農業)推進本部 本部長



15:55~

『住宅分野における木材利用分野の可能性』

池本 洋一 氏

リクルート SUUMO編集長

【 講師 経 歴 】

ほんごう たかし

■ 本郷 尚 氏 (三井物産戦略研究所 シニア研究フェロー)

経歴 ・1981年 日本輸出入銀行(現国際協力銀行)入行。特命審議役環境ビジネス支援室担当などを歴任。旧経済企画庁、旧日本興業銀行に出自。

・2011年 三井物産戦略研究所入社。

国際排出量取引協会理事・Japan WG共同議長、文部科学省・科学技術・学術審議会専門委員/環境エネルギー科学技術委員会(主査)、環境省・CO2削減事業検証評価委員会(委員長)等を務める。

『Nikkei GX』に定期的に寄稿。『CCSの本格商業化に向けた道筋』など執筆多数。

うめだ ひろゆき

■ 梅田 博之 氏 (コマツグリーン事業(林業・農業)推進本部 本部長)

経歴 ・1988年(株)小松製作所入社。 ・2019年 執行役員就任。

・2020年 コマツフォレスト(株)(スウェーデン・ウメオ)社長。

・2023年 グリーン事業(林業・農業)推進本部 本部長。

ハーベスタやフォワーダなどの製造・販売を行うコマツフォレスト社長として欧州を拠点にICTの進化により効率化が著しい世界の機械化林業の最前線で林業機械ビジネスに携わる。これらの知見をもとに慢性的な人材不足が続く日本国内の林業現場において省人化はもちろん安全で生産性の高い国内林業の実現に向けて取組中。

いけもと よういち

■ 池本 洋一 氏 (リクルート SUUMO編集長)

経歴 ・1995年 株式会社リクルートに入社。住宅情報誌の編集、広告に携わる。

・2011年 SUUMO編集長。 ・2019年SUUMOリサーチセンター センター長。

不動産情報サイト事業連絡協議会監事、国土交通省社会資本整備審議会住宅地分科会委員、同省良質住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業評価委員、経済産省ZEHロードマップフォローアップ委員会委員等を務める。

共著に『なぜ住まいのカーボンニュートラルは進まないのか? : 今私たちがすべき住まい方とは』、『住宅の世代間循環システム—社会経済への提言』など。

『2026 ミス日本みどりの大使』が林業協会を訪問

2月9日（月）午後、2026年の『みどりの大使』の永田愛実（ながた まなみ）さんが当協会をを訪問されました（『ミス日本』の紹介は次ページを参照ください）。

出来たばかりの名刺でのご挨拶の後、島田会長や事務局員と歓談され、これからの1年の活動に向けた抱負などについて熱心に話されました。

日大法学部の2年生で、出身地の長崎では登山も良くされたそうですが、森林や林業には余り関わりが無く、これから一生懸命勉強しつつ現場も回らせていただいて、地元の方々などから色々なお話を聞きたいと眼を輝かせていました。

皆様には是非、イベントや会議等の場での司会役など、『みどりの大使』の活動を大いに応援してくださるようお願いいたします。



（一社）日本林業協会 令和8年度第1回理事会を開催

一般社団法人・日本林業協会の令和8年度第1回理事会を2月10日（火）午前11時から林友ビル会議室で開催しました。

審議事項は、2月24日（火）午後2時から開催予定の『令和8年度第13回定時総会』に提出する議案及び当該理事会において決議すべき議案です。

島田会長の挨拶が行なわれた後、「会務報告」、「議案1号・令和7年度事業報告及び財務諸表について（併せて「監査報告）」、「議案2号・令和8年度会費の賦課及び徴収方法等について」、「議案3号・役員改選について」、「その他（第13回総会次第等について）」について、順に事務局からの説明後、審議を行いすべての議案が原案通り了承されて、滞りなく第1回理事会が終了しました。



島田会長のご挨拶



永田 愛実 NAGATA Manami

海と山に囲まれた長崎県長崎市出身で、幼い頃から山登りや海遊びに親しんできました。幼い頃の遊び場であった地元の山王神社では、戦争を乗り越えた「被爆クスノキ」が枯死寸前の状況から力強く復活しています。平和教育を経て被爆クスノキの姿を改めて捉え直し、みどりの力強さと不屈の生命力を実感したと話します。

現在は表現者として芸能の道を志しており、これまでもミュージカルやモデル、役者としての経験を重ねています。高校時代には長崎県の高校野球イメージガールを務めたことをきっかけに、足繁く球場へ通い、球児と関係性を築くことで彼らの想いや努力を聞き出し、生放送の番組内で現場の声を伝える役割を担いました。この時の経験から「伝える」表現の奥深さに気が付きました。現場に足を運び、人と真摯に向き合い、五感で感じたことを届けられる表現者を目指しています。

映画鑑賞は年間100本近くも視聴。中でも最も好きな映画は「タイタニック」であり、単なる恋愛映画ではなく、登場人物たちが自分の人生を選択する尊い姿を、人生の教訓として捉えています。

将来はタレント、映画など表現を通じて人の心を動かせる俳優になりたいと話し、この任期中は舞台を森に移して、多くの現場で働く人々と真摯に向き合い、彼らの知恵や技、想いを「伝える」役割に全力投球していきます。



ミス日本とは

ミス日本コンテストは、**日本らしい美しさ**を備えた女性を育成・輩出し、より良い社会を築くことを目指しています。

1950年に第1回が開催され、日本で最も歴史あるコンテストです。審査では外見はもちろん、**教養などの内面や、将来の目標への努力・行動を重視**しております。そのため、出場者には日本の歴史や道徳、お能やお茶、浮世絵など30講座にも及ぶ勉強会が提供されており、**育成の性格を持ったコンテスト**です。

これまで芸術、学問、ビジネス、政治、アナウンサーや女優、モデルなど様々な分野で活躍する女性を多数輩出しており、受賞者たちの将来に期待がかかります。

2026ミス日本みどりの大使



未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取り組みや、生活に根ざした日本の木の文化の大切さと素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

※2015年より創設



生年月日	2005年 6月21日生まれ
出身地	長崎県長崎市
職業	日本大学法学部 経営法学科2年
サイズ	T 171 Shoes 24.5
特技	ピアノ
趣味	ギター/映画鑑賞
将来の希望	声を通して人と人の心を繋ぐ伝手
座右の銘	感謝の心で、言葉に温もりを

一般社団法人ミス日本協会 TEL 03-5323-0781

〒160-0023東京都新宿区西新宿2-2-1京王プラザホテル南館9階

ご紹介コーナー

『モクコレ 2026』の会場で『森育・木育ボードゲーム体験会』に出会いました!!

2月12日（木）、13日（金）の2日間にわたって開催された『WOODCollection2026』の中央広場で体験会を開催していた『森育・木育教材普及協議会』の「森林環境教育・木育等を広げる・深める「遊戯性教材（ボードゲーム）」をご紹介します。

森林環境教育・木育等を広げる・深める『遊戯性教材』活用のススメ

<趣旨>

これまで、森林・林業・木材に関わる行政機関や関係団体、事業者等によって、全国各地で森林環境教育や木育など、様々な取り組みが行われてきました。

その一方で、「森林や木材の大切さを伝えたいけれど、中々関心を持ってもらえない」、「そもそも森林や林業が子供たちにとって遠い存在になっている」と感じる場面も少なくないのではないのでしょうか。

「どうすれば子供たちが自然とこの学びに向き合ってくれるのか」を考え、注目したのが『ゲームの持つ遊戯性』です。ゲームには、勝ったり負けたり、失敗してやり直したり、試行錯誤を重ねたり、思わず悩んでしまうようなジレンマがあったりと様々な「遊び」の要素が含まれています。

ゲームを通して多様な経験を重ねるうちに、気付かないうちに森育・木育の内容に興味を持つ子供が現れ、探求的な学びが始まり、将来の進路やキャリアに繋がっていくこともあるかもしれません。

「森育・木育教材普及協議会」では、「遊戯性教材」のモニター体験会や先進的な取り組みを分析・整理し、多様な「遊戯性教材」の特徴や現場での工夫に満ちた先導事例を紹介しています。以下に主なボードゲームを紹介しますのでご興味・関心のある方は是非チャレンジしてみてください。

（森育・木育教材普及協議会編『森林環境教育・木育等を広げる・深める「遊戯性教材」活用のススメ』から抜粋：文責：日本林業協会）

<体験会の実施教材>

セーザイゲーム

熊野林皇会



対象：小学校高学年以上
プレイ人数：10～40人
所要時間：90～120分

本物の木を使用。製材会社を経営し、競り・木取りで高価な材木を作り出す体験を通して製材業を理解する

FOREST BALANCE GAME

飛騨五木（株）



対象：小学校高学年以上
プレイ人数：1～4人
所要時間：15～20分

所有林で林業経営をしながら「自分だけの森」を造り「山林王」を目指す中で、林業や環境と経済の調和を理解する

※各教材の詳細は、申込フォームの説明欄のリンクからご覧ください。

moritomirai

山梨日日新聞社・(株)プロジェクトデザイン



対象：小学校高学年以上
プレイ人数：10～40名
所要時間：90～180分

森林所有者、森林組合等10の役割に分かれて、森林と関わって仕事と生活を繰り返しながら森林の役割を考える

森の守り人

丸紅木材（株）



対象：小学校中学年以上
プレイ人数：2～4人
所要時間：60分程度

それぞれ自分の山を持ち、植林・育林・伐採と木材の活用といった「森づくりの循環サイクル」を体験する

<展示教材>

きこりものがたり

※体験会には行いませんが、出展ブース（西2ホール）で教材を展示します。

（一社）東京学芸大Explayground推進機構
未来の森の教室ラボ



対象：小学生以上
プレイ人数：2～6人
所要時間：45～60分

植林・間伐・収穫を行う一方で材価の低迷に直面する中で、間伐の必要性や日本の林業の厳しさ等を学ぶ

ZORING

ZORING製作委員会（林野庁 東北森林管理局）



対象：小学校中学年以上
プレイ人数：4～5人
所要時間：20～30分

自ら植林～収穫までの森林整備や被害対策をしつつ、相手の森林整備を妨害する中で、森林整備について理解する

令和 8年 1月 国会の動き

《国会関連》

- 23 (金) 衆・本会議
議席の指定
- 23 (金) 参・本会議
議席の指定

令和 8年 1月 業界の動き

【12月】

- 1日 (月) 全国森林組合連合会
10月開催の「日本伐木チャンピオンシップin鳥取」報告書を公開
- 5日 (金) 林野庁
全国の国有林において『昭和100年記念分収造林』及び新たに「グリーン・シェアリング (分収造林)」の実施を公表
- 上旬 やまなし森の紙推進協議会
FSC認証の山梨県有林のヒノキ精油を原料とした香水を発売
- 12日 (金) 全国森林レクリエーション協会
2025年度の森林インストラクター資格試験の合格者数 (127名) 等を発表
- 同上 全国森林組合連合会及び (株) JVC
ケンウッド
林業労働安全対策の強化に向けた連携協定を締結
- 同上 (株) 山大、石巻地区森林組合及び宮城県東部地方振興事務所
「石巻圏域における再造林促進に関する協定」に基づく4回目の植樹式を開催
- 15日 (月) 日本森林林業振興会
2025年度の山火事予防ポスター用原画と標語の入賞・入選者を決定
- 19日 (金) みずほ証券(株)
徳島県及び三重県における放置林等の活性化に向けた実証事業を開始
- 21日 (日) 木原営林大和事業財団
東京都の「八王子森林パトロール隊」の活動実績を讃える顕彰伝達式を実施
- 22日 (月) 香川県の大倉工業 (株)、まんのう町、香川県森林組合連合会、仲南町森林組合及び全国森林組合連合会
森林由来J-クレジットの活用に連携して取組む「夢と未来を育むさぬきの森プロジェクト」協定を締結

令和 8年 1月 業界の動き

- 23日（火）政府
メガソーラー（大規模太陽光発電施設）に関する関係閣僚会議を開き、法的規制の強化や支援制度の見直しなどを盛り込んだ「対策パッケージ」を決定
- 25日（木）国土緑化推進機構
2026年の国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクールの審査結果を発表
- 26日（金）政府
2026年度当初予算（案）を閣議決定
- 【1月】**
- 5日（月）日本林業協会
令和8年林業関係団体賀詞交換会を開催
- 6日（火）東京木材問屋協同組合
「令和8年新年賀詞交換会」を開催
- 8日（木）東京都合板組合連合会
「第52回新年合同賀詞交換会」を開催
- 15日（木）日本治山治水協会
2025年度の山地災害防止標語及び写真コンクールの受賞者を決定
- 16日（金）全国国有林造林生産業連絡協議会・全国素材生産業協同組合連合会
「令和7年度森林林業中央研修会」を開催
- 19日（月）日本製紙(株)秋田工場
エリートツリーの閉鎖型採種園が完成
- 20日（火）林野庁
メガソーラーに関する新たな規制強化策（案）をとりまとめ検討会に提示
- 20日（火）中部電力(株)
鳥取県米子市でのバイオマス発電事業からの撤退を発表
- 21日（水）佐伯広域森林組合
建設を進めていたツーバイ材加工施設の落成式を開催